

# 平成28年度 事業報告書



H28.12 竣工 移山寮食品加工場

社会福祉法人 生活・文化研究所

法人本部

共同生活ホーム 移山寮

多機能型障害福祉サービス事業所 移山寮

相談支援事業所 移山寮

# 目 次

I.	法人の概要報告、重点事項の実施状況	1
II.	実施事業	3
III.	法人本部	3
IV.	共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）	7
V.	多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援 B 型）	8
VI.	相談支援事業所移山寮（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）	11
VII.	生活困窮者認定就労訓練事業	12

## 附属明細書

- ・ 組織図
- ・ 役員・評議員（平成 29 年 3 月 31 日時点）
- ・ 苦情解決体制
- ・ 虐待防止管理体制
- ・ 事業推進会議
- ・ 委員会活動
- ・ 職員研修
- ・ 防火管理
- ・ 就労継続支援 B 型事業・生産活動について

## I. 法人の概要報告、重点事項の実施状況

---

昨年度、社会福祉法人制度改革に伴う法改正・制度化が進められ、今年度はその対応を確実に進めて行くことが求められた。当法人では地域における公益的な取組を実施する責務への対応として、生活困窮者就労訓練事業の立ち上げ、経営組織の見直し、定款変更、規程類の整備等を進めてきた。また、利用者の増加やニーズの多様化に伴い、移山寮本館の増改築と生活介護事業の立ち上げ、生産活動の活性化のため食品加工場の新築・移転、送迎車輛や作業場の整備等も行った。

そのような中、7月に神奈川県相模原市の障害者支援施設において大変痛ましい殺傷事件が発生し、また8月にも岩手県岩泉町の高齢者グループホームにおいて、台風の水害により多くの犠牲者が出る被害があった。厚生労働省からは「防犯に係る安全確保」や「非常災害時の体制整備・強化・徹底」についての通知が出され、当法人ではグループホーム建物への防犯カメラの設置（4月施工）や研修への参加等を行ってきたが、利用者の安全・安心の確保の取り組みはまだ十分と言えず、次年度早急に取り組みを進めることとしている。

目まぐるしく変化する福祉制度の趣旨を理解し、福祉サービスの担い手である社会福祉法人の経営のあり方を見直し、利用者のニーズに基づいた安定したサービス提供とその質を高めていくことを目指し、具体的な取組みを更に進めていきたい。

中期経営計画に基づく今年度の「重点項目・基本施策」については、以下のとおり取り組んだ。

### 1. サービスの質の向上

接遇研修の実施による意識の醸成と、個別支援計画の充実・支援技術の向上を図り、エンパワメント支援の推進に努めた。サービス向上委員会が中心となり、苦情解決体制を推進。第三者委員の定期訪問及び相談日の設定、利用者ご家族アンケートを実施し、意見の収集に努めた。また、全職員を対象に虐待防止研修及びチェックリストによる行動の振り返りを行った。

### 2. 利用者の安全・安心の確保

利用者の急変を想定した緊急時対応訓練を実施した。繰り返し行っていくことで職員の対応力を高めていきたい。その他、危機管理委員会では、事故・ヒヤリハット事例の収集、安全衛生点検を行い、各部屋の衛生状態や危険個所のチェックを行った。

防犯に係る安全確保の取り組み及び非常災害時の体制整備に早急に取り組む。

### 3. 地域交流、家族会・関係機関・団体との連携

五戸まつり・まける市の見学、地元小中高等学校との交流、イベント開催、販売活動等の機会を継続して設けた。積極的に地域へ出向き、交流することで、事業所や利用者への理解を得

られるよう努めている。今年は、イベント出店以外にも、スコープ三味線やダンスのステージ出演依頼があった。

また、家族会行事や日々の連絡調整等を通じて、ご家族と協力し合え得る関係づくりや、市町村・関係機関等との連携・ネットワーク体制の強化に努めている。

#### **4. 職員の確保と定着**

働きがいを感じられる職場づくりへの具体的な取組みが課題となっている。定年退職後の人材の確保が積極的に行われている一方、現役世代の人材の確保と育成が急務である。キャリアパス制度を充実させ、将来への希望を持ち続けられる仕組みを検討していきたい。

#### **5. 人材育成の強化**

年間研修計画による計画的な研修の推進と個別研修計画の策定、目標管理制度の運用、人事評価制度を活用し、自己啓発意識の醸成を図った。継続的な取り組みと内容の充実が課題。

#### **6. 経営マネジメント力の向上**

定款の変更、組織づくり、各規程類の見直し等を行った。地域における公益的な取組を実施する責務への対応として、生活困窮者就労訓練事業を立ち上げた。改正社会福祉制度の正しい理解と対応が求められている。

今年度の指導監査・実地指導での指摘事項はなく、今後も適正な運営を進めていくため、継続的に取り組んでいく必要がある。

現在ホームページのリニューアルを行っており、次年度からの新たな情報公開ルールに則った情報の発信を行えるよう準備を進めている。

#### **7. 業務の合理化**

より効率的に業務を進めていくため、支援入力システムの見直しを検討しており、今年度は情報収集を行った。次年度具体的な検討を重ね更新を行う予定。事務業務では、インターネットバンキングを導入し、総合振込、給料振込に移行した。

## II. 実施事業

### < 第二種社会福祉事業 >

- 共同生活ホーム移山寮（事業所番号：0221200025）  
サービス種類・定員：指定共同生活援助（介護サービス包括型）・定員 5 名  
適用年月日：平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日

- 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（事業所番号：0211200043）

サービス種類	指定生活介護	指定就労継続支援B型
適用年月日	平成 29 年 1 月 1 日～平成 34 年 12 月 31 日	平成 27 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日
定 員	10 名	20 名

- 相談支援事業所 移山寮（事業所番号：0231200056（者）／0271200065（児））  
サービス種類：指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業  
適用年月日：平成 26 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日

- 生活困窮者就労訓練事業（事業所番号：0200000022）  
認定日：平成 28 年 6 月 15 日

## III. 法人本部

### 1. 理事会 ※出席者数のうち、() は書面出席の人数

開催日	出席者数		主 な 議 案 等
	理事	監事	
5 月 26 日	6 名	3 名	平成 27 年度事業報告、決算報告、監事監査報告、規程の改正、生活困窮者就労訓練事業の新設・多機能型生活介護事業の新設について、建物の増改築及び加工場新築（移転）について
6 月 30 日	6 名 (2)	1 名	建物増改築工事及び加工場新築工事について、補正予算案審議
10 月 17 日	5 名	2 名	事業中間報告、経理状況報告、工事入札結果及び進捗状況等報告、多機能型生活介護事業の新設について、評議員および理事・監事の改選について、社会福祉法人制度改革について、規程類の改正
11 月 13 日	5 名	1 名	新理事長選任、定款第 10 条第 1 項および第 2 項職務代理者の指名・選任、生活介護事業予算案審議、規程類の改正
1 月 27 日	6 名	2 名	定款変更案審議、評議員選任・解任委員会運営細則案・費用弁償規程案審議、評議員選任・解任委員の選任、次期評議員候補者、次期理事・監事候補者について、役員報酬規程の変更案・旅費規程の変更案審議、マネジメントリスクプロテクション保険への加入について、増築工事及び食品加工場新築工事の報告等、指導監査及び実地指導の結果

開催日	出席者数		主 な 議 案 等
	理事	監事	
3月8日	6名 (1)	3名	次期評議員候補者について、定款変更認可の報告
3月23日	5名	2名	平成28年度補正予算案、平成29年度事業計画案、当初予算案、定款細則変更案、経理規程変更案審議、社会福祉充実残額見込み報告、次期評議員の審議結果報告、利用者・ご家族様アンケート報告

## 2. 評議員会

開催日	出席者数	主 な 議 案 等
5月26日	13名	平成27年度事業報告、決算報告、監事監査報告、規程の改正、生活困窮者就労訓練事業の新設・多機能型生活介護事業の新設について、建物の増改築及び加工場新築（移転）について
6月30日	8名	建物増改築工事及び加工場新築工事について、補正予算案審議
10月18日	11名	事業中間報告、経理状況報告、工事入札結果及び進捗状況等報告、多機能型生活介護事業の新設について、評議員および理事・監事の改選について、社会福祉法人制度改革について、規程類の改正
11月11日	10名	生活介護事業予算案審議、規程類の改正
1月27日	12名	定款変更案審議、評議員選任・解任委員会運営細則案・費用弁償規程案審議、評議員選任・解任委員の選任、次期評議員候補者、次期理事・監事候補者について、役員報酬規程の変更案・旅費規程の変更案審議、マネジメントリスクプロテクション保険への加入について、増築工事及び食品加工場新築工事の報告等、指導監査及び実地指導の結果
3月23日	11名	平成28年度補正予算案、平成29年度事業計画案、当初予算案、定款細則変更案、経理規程変更案審議、社会福祉充実残額見込み報告、次期評議員の審議結果報告、利用者・ご家族様アンケート報告

## 3. 監事監査会

日 時：平成28年5月19日 13:00～15:00

場 所：移山寮本館 多目的室

出席監事：3名

立会い者：理事長、理事（管理者）、事務職員

監査結果の結果、理事の業務執行状況、会計関係書類等についての指摘事項はなかった。

#### 4. 施設整備・備品等の購入

##### <建 物（基本財産）>

工 事 名	移山寮本館増築工事及び食品加工場新築工事
工事請負業者	株式会社 大山建工
設計監理業者	有限会社 翔建築設計事務所（代表取締役：谷口国夫）
総 費 用 額	35,978,786円（工事、設計監理、諸費用等を含む）
本 館	所在地：三戸郡五戸町字正場沢長根8-1 構造：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 床面積：248.42㎡（完成後） 引渡日：11月18日
食 品 加 工 場	所在地：三戸郡五戸町字正場沢37-39 構造：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 床面積：115.93㎡ 引渡日：12月27日

##### <土 地（基本財産）>

食 品 加 工 場	所在地：三戸郡五戸町字正場沢37番39 地 籍：669㎡ 取得金額：8,045,804円（土地購入費用、諸費用を含む） 地 目：宅地（山林から変更）
駐 車 場	所在地：三戸郡五戸町字正場沢37番10 地 籍：232㎡ 取得金額：694,432円（土地購入費用、諸費用を含む） 地 目：雑種地（畑から変更）

##### <その他>

品 目	金 額
管理機（ヤンマーSK650DX）	255,000円
コピー機（キヤノン・カラー複合機）	リース総額999,000円
農場プレハブ設置	918,000円
業務用冷凍冷蔵庫（食品加工場用）	394,200円
業務用ガスコンベクション（食品加工場）	275,400円
FFストーブ（グループホーム居室）2台	147,312円
FFストーブ（生活介護）1台	107,784円
軽自動車N-BOX（日本財団助成）	1,028,010円
ノートパソコン（生活介護）	89,640円
ノートパソコン（B型） ※故障による買替	91,800円
ノートパソコン（B型） ※故障による買替	89,640円
ノートパソコン（加工場用）	89,640円

## 5. 職員配置

区 分	職 名	常 勤	非常勤	常勤換算数	
共同生活生活ホーム 移山寮	管理者	1名			
	サービス管理責任者	兼務1名			
	世話人		2名	1.0	
多機能型障害福祉 サービス事業所移山寮	管理者	兼務1名			
	サービス管理責任者	1名			
	生活介護	嘱託医師		1名	0.1
		看護職員		1名	0.5
		生活支援員	1名		
	B型	職業指導員	1名	6名	3.4
		生活支援員	1名	1名	0.7
		目標工賃達成指導員	1名		
	調理員		1名	0.7	
	送迎担当者		2名	0.6	
事務職員	1名				
相談支援事業所移山寮	管理者兼相談支援専門員	1名			
合 計		9名	14名	7.0	

## 6. 指導監査・実地指導について

実施主体：地域健康福祉部福祉総室監査指導課

日 時：平成28年10月21日 10:00～

場 所：移山寮本館 多目的室

立 会 者：理事長、理事（管理者）、サービス管理責任者（B型）、事務職員、監事（2名）

指摘事項：なし

## 7. 苦情受付状況

なし

## 8. 事故・ヒヤリハット発生状況

事 故	8件	車両事故・接触3件、設備・備品の破損3件、利用者本人が貴重品を紛失1件、服薬1件
ヒヤリハット	5件	利用者の一時的な行方不明1件、利用者の転倒1件、日中活動中の軽度のケガ（擦り傷程度）3件



#### IV. 共同生活ホーム 移山寮（共同生活援助）

「利用者一人ひとりが安定した生活を送ることのできる場所」となるよう、利用者本位の視点に立ったサービス提供に努めた。2名の世話人が連携を取り、生活面、食事面等に配慮して支援を行った。入居者は生活全般に落ち着きが見られた。利用者同士が互いに協力し合い、大きなトラブルもなく安定して過ごすことができた。

例年の町内会の環境整備活動や月1回行われているリサイクル活動には休むことなく参加し、また希望者は五戸まつりに参加するなどし、地域交流を積極的に図った。

日中活動については、入居者5名のうち、1名は一般就労（4月～11月までの期間）、他は当法人の就労継続支援B型及び生活介護を利用した。1名が1週間程入院したが回復し現在も継続して入居している。

3月に1名が退所し1室空きが出たが、同月に体験利用者があり、平成29年4月から新たな入居者を迎え、グループホームは満室となった。

##### 1. 利用者の状況（H29.3.31現在）

定員	利用者数	平均年齢
5名	4名	46歳

##### 2. 開所日数と利用状況（H29.3.31現在）

※平均利用者数 4.9人/日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	150	155	150	155	151	150	155	150	147	153	140	134	1,790日

##### 3. 主な年間行事

博労町自治会リサイクル活動	年10回	4/24、5/29、6/26、7/30、8/28、10/2、10/30、11/27、1/8、3/26
入居者会議	年5回	4/20、6/26、8/28、10/30、12/25
誕生会	年4回	6/13、8/21、1/13、3/16
利用者健康診断（B型と合同）		5/10
協力医定期健診（B型と合同）		7/29、2/27
消防訓練		7/31、3/26

## V. 多機能型障害福祉サービス事業所 移山寮（生活介護・就労継続支援 B 型）

これまで通所事業は「就労継続支援 B 型」のみだったが、利用者数の増加や高齢化・支援ニーズの多様化に対応するため、建物を増築し平成 29 年 1 月に「生活介護」を新設し、多機能型事業所となった。

就労継続支援 B 型では、前年度に引き続き、「個々の強みを生かした利用者中心の生産活動」を目指し、エンパワメントの視点を重視した支援に努めた。加工、受託作業では、利用者が主体になって行える仕事の範囲がさらに広がり、利用者はそれぞれの得意な仕事で活躍している。12 月には、食品加工場を新築移転し、作業の効率化及びより多くの利用者が従事できる環境が整備された。また、企業等で働く「施設外支援」の機会も増えており、働くことに対する自信や意欲、工賃の向上に結びついている。

生産活動の売上高・工賃支給総額・工賃時給額は、前年度いずれも過去最高となり、地域の最低賃金の 3 分の 1 を初めて超えることができた。今年度は売上高・収益率が前年度を下回る結果となったが、一部積立金を取崩して充当し、工賃支払総額は 7,921,184 円、平均時給額 247.3 円と過去最高の工賃支給実績となった。

1 月から開設した生活介護は、「自分の活動を通して楽しさを見つけながら自分の人生を主体的に生きて行く支援」を柱とし、基本的な生活習慣の確立と健康の維持・精神的な安定を図るとともに、個々のニーズに見合ったサービス提供と利用者の主体性を大事にすることを方針とし、支援を行った。

毎日の健康チェック、月 1 回の嘱託医健診を行い、利用者の健康面について配慮するとともに、週 2 回の入浴日を設け、衛生保持に努めた。日中活動では、楽しさ・達成感を感じられるよう本人の希望に沿った無理のない生産活動・創作活動の場の提供に努めた。

利用者数は、生活介護・就労継続支援 B 型合わせて 36 名となった。1 月に B 型の利用者 7 名が生活介護に移行したものの、B 型のサービス提供延数は前年比 109.8%の 6,148 人、1 日あたりの利用者数は前年比 109.4%の 20.6 人と増加した。

給食（1 食 200 円）や無償送迎エリアの拡大、入浴サービス等、利用者への提供サービスの充実を図るとともに、職員の接遇・支援技術の向上、地域活動への積極的参加等にも力を入れている。

### 1. 利用者の状況（H29. 3. 31 現在）

事業	定員	利用者数	平均年齢	住居のある地域
生活介護	10 名	9 名	54 歳	五戸
就労継続支援 B 型	20 名	27 名	42 歳	五戸、新郷、十和田、八戸

## 2. 開所日数と利用状況（H29.3.31現在）

＜生活介護＞ ※平均利用者数 6.1人/日

月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	20	21	22	63日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	121	128	135	384日

＜就労継続支援B型＞ ※平均利用者数 20.6人/日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	22	25	27	28	26	27	26	25	23	23	23	24	299日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	504	493	563	538	560	555	564	529	526	276	492	548	6,148日

## 3. 主な年間行事

月	事業所行事等	交流・地域行事参加・見学等
4月	1日 入所式 26日 家族会総会・事業説明会	23日 五戸春まつり ステージ出演
5月	2日 交通安全指導・美化活動 10日 利用者健康診断	11日 民生児童委員じゃがいも植え→雨天中止 13日 五戸小学校学習菜園の耕地援助 16日 東京（BOX購入者）からボランティア（4名） ※28日に「あそびの広場」へ活動場所の提供
6月	1日 熱中症等予防啓発 6日 第三者委員定期訪問&相談日 20日 消防訓練① 28日 家族会バス旅行	22日 民生児童委員農作業ボランティア 23日 グリーンツーリズム玉ねぎ収穫体験（10名）
7月	1日 利用者会議&学習会 12日 利用者自主活動（買い物学習） 29日 協力医診察②（田中医院）	30日 さくら荘まつり ステージ出演
8月	8日 大掃除 25日 第三者委員定期訪問&相談日	9-10日 三八教育事務所10年次研修（8名） 27日 三戸郡育成会愛の輪レク参加
9月		2日 五戸まつり見学 6,7日 川内中学校福祉体験学習 12日 五戸町民生児童委員ジャガイモ収穫 16日 グリーンツーリズムシソの実収穫体験（3名） 20日 五戸高校シソの実収穫ボランティア 21日 家族会シソの実収穫の手伝い

月	事業所行事等	交流・地域行事等への参加・見学等
10月		1日 地域生活推進協議会研修会・山辺さん発表 14日 切谷内小6年生11名来所ボランティア 27日 福祉バザー見学・ステージ出演
11月	1日 食品加工場の上棟式 7日 利用者会議 15日 リサイクルバザー 17日 インフルエンザ予防接種	
12月	8日 生活介護説明会 27日 利用者会議 27日 大掃除	21日 マックスバリュ北園店よりクリスマスケーキ寄贈
1月	14日 移山寮新年会 16日 嘱託医定期診察（生活介護） 23日 利用者学習会	19日 五戸町福祉大会見学
2月	1日 第三者委員定期訪問、相談日 13日 嘱託医定期診察（生活介護） 27日 協力医健診②（B型）	11日 ふれあいフェスティバル参加 16日 まける市見学
3月	9日 嘱託医診察（生活介護） 24日 避難訓練	

## VI. 相談支援事業所 移山寮（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）

平成26年4月から3年間相談支援をした結果契約件数は3年間で120件となり28年1年間の収入金額は、5,394,380円となって昨年度と比較して550,000円程度の増となっている。新規契約件数は23件となっている。地域別に見ると新規契約数23件のうち地元五戸町の利用者は15件次いで八戸市3件、新郷村2件、三戸町、南部町、田子町がそれぞれ1件となっており、地元五戸町の役場へ家族本人の申請の段階で相談支援事業所として知名度がアップし、移山寮を指定する家族・本人が増えたと思われる。

新規契約者についてはサービス利用に急を要するケースがあり、出来るだけ早く利用出来るように計画の作成に時間をかけない様に配慮している。

また、生活保護を受給している方々について三戸地方福祉事務所の働きかけにより、生活保護費受給者の利用も増えてきている。

日中活動の場や、工賃をいただいて生活保護費に補足した収入で、本人の生活水準のレベルアップや生活の質の向上になっているようである。

障がい種別としては知的障がい者・児童 11件 精神障がい者8件 身体障がい者4件 となっている。

最近のケースとしては児童の放課後等デイサービスを利用児童の行き場がなく、十和田市、八戸市の三戸町の事業所を探してようやく利用になるというケースがある。

利用者の高齢化に伴い医療との連携を密にしなければならないケースや、家族も高齢による介護力の低下で施設入所を検討するケースなどが増えてきている。

1. 契約者数（H29.3月末現在） 120名（前年度+5名）

2. 計画作成状況（請求月基準）

種類		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
障害者	サービス利用支援（計画作成）	33	14	15	28	90
	継続サービス利用支援（モニタリング）	51	66	45	62	224
	小計	84	80	60	90	314
障害児	サービス利用支援（計画作成）	5	7	1	2	15
	継続サービス利用支援（モニタリング）	2	4	4	9	19
	小計	7	11	5	11	34
合計		91	91	65	101	348

## VII. 生活困窮者就労訓練事業

---

生活困窮者就労訓練事業の認定を平成 28 年 6 月 15 日付で青森県知事より受けた。

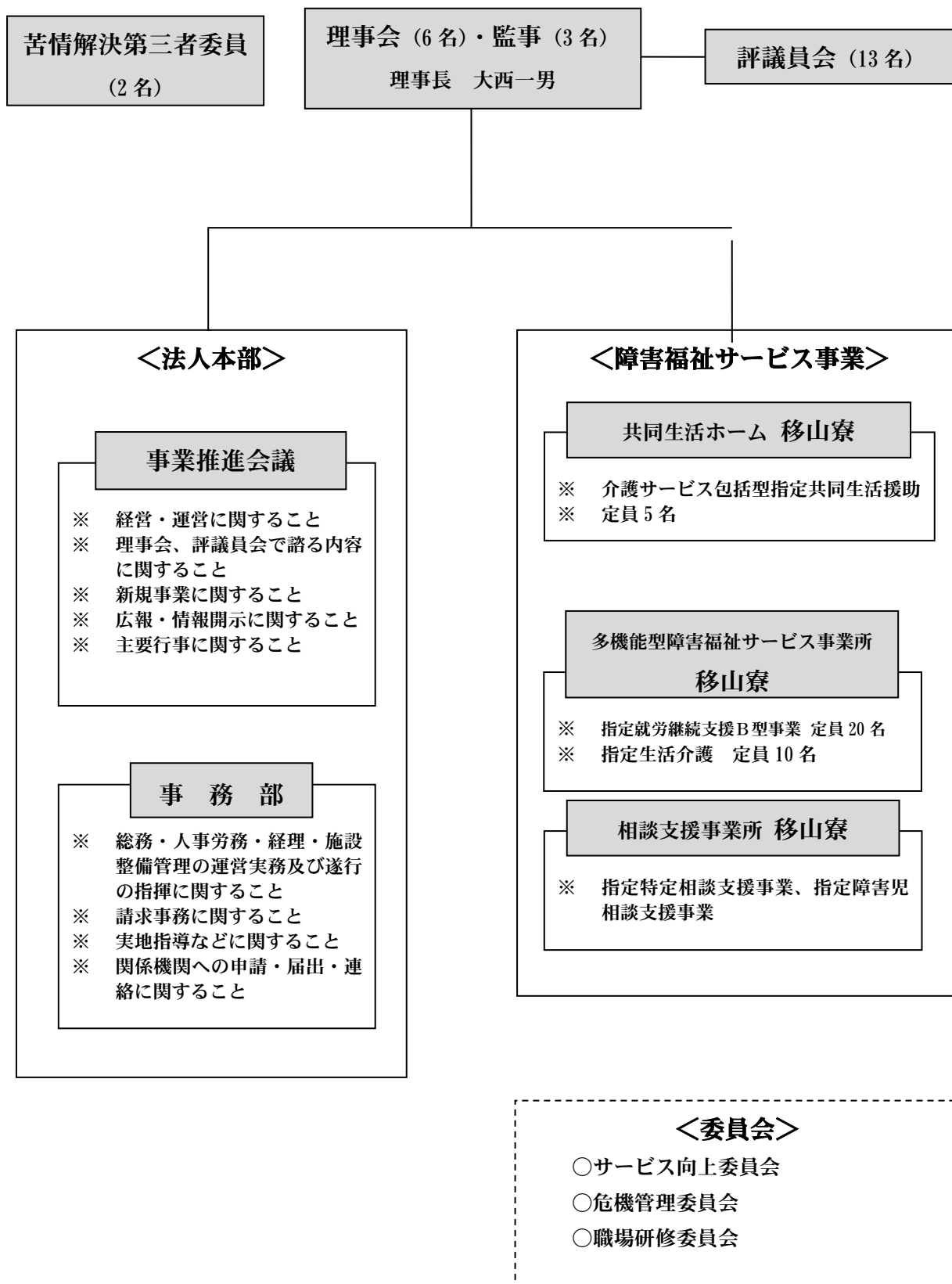
新規事業のため、事務的な流れや利用のための手順、対象者の生活困窮者と生活保護受給者のすみ分けなど、解らない事が多く模索をしながら、三戸地域自立相談窓口や三戸地方福祉事務所などと連携をとりながら取り組んできた。実績については、9 月までに 2 件の支援提供通知を受け支援を行った。

### 【受入実績】 2 名

雇atype・非雇atypeの別/利用期間	支援内容等
非雇atype/ H28. 7. 25～H28. 8. 25	移山寮内で草刈り作業に従事し、就労訓練を実施。 派遣会社の介入で住み込みでの就職ができた。
非雇atype/ H28. 9. 5 H28. 10. 11～H29. 2. 28	移山寮内の加工作業に従事し、就労訓練を実施した。 3 月からは就労継続支援 B 型を利用している。

# 附属明細書

# 社会福祉法人 生活・文化研究所 組織図





## 役員・評議員（平成 29 年 3 月 31 日時点）

<役員> 【定員／現員】理事 6 名、監事 3 名

【任期】平成 28 年 11 月 13 日～平成 29 年 4 月 1 日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時まで

（理事長）大西一男

（理事）大西祐子、村越郁哉、戸舘真里子、江渡まき、日向端潔

（監事）三浦啓子、菊池瑞穂、山部篤志（平成 29 年 3 月 31 日まで）

<評議員> 【定員／現員】13 名

【任期】平成 28 年 10 月 23 日～平成 29 年 3 月 31 日

赤坂静、林つる、原サメ、藤田ナツ子、米田喜一、三浦京子、山崎純子、戸舘真里子、向山恭子、金澤宏昭、佐々木正志、三浦とし子、金澤實

## 苦情解決体制

事業所説明会において第三者委員を紹介し、利用者・ご家族へ体制の周知を図った。第三者委員の定期訪問、利用者と面談方式で話をする機会を設け、相談しやすい環境作りに努めた。

運営推進	サービス向上委員会
苦情解決に関する体制	苦情解決責任者：大西 祐子 苦情受付担当者：工藤加代子、沼沢剛
第三者委員	佐々木 正志、川村 テル
主な活動内容	・第三者委員定期訪問、相談日の設置（年 3 回） ・利用者ご家族様アンケートの実施 等
苦情等受付件数	なし

## 虐待防止管理体制

内部研修会の開催、県主催の障害者虐待防止・権利擁護研修への参加、チェックリストによる点検等を行い、事業所内での虐待防止に努めた。

運営推進	サービス向上委員会
虐待防止管理体制	虐待防止対応責任者：大西 祐子 虐待防止受付担当者：工藤加代子、沼沢剛
主な活動内容	・虐待防止研修開催（4 月） ・チェックリストによる定期点検【事業所・職員】（9、10 月） 他

## 事業推進会議

法人経営・事業運営等について話し合う場として年5回開催した。

開催日	主な内容
<第1回> 4月14日	①28年度計画について（スケジュール・役割分担等） ②法改正の内容について、③その他
<第2回> 5月13日	①理事会・評議員会の内容について（事業報告、生活困窮者就労訓練事業の新設、多機能型生活介護事業新設、本館増改築・加工場新築について）
<第3回> 7月21日	①4-6月事業報告、②計画の進捗状況報告、③法人制度改革関係について
<第4回> 9月13日	①施設整備進捗状況、②収穫祭について、③多機能型生活介護について、④評議員・役員の改選について、⑤法人制度改革関係について
<第5回> 2月21日	①給食について、②生活介護事業について、③H28計画進捗状況、④次年度方針 ⑤安全管理について、⑥サービス質の評価について、⑦生活困窮者就労訓練事業について

## 委員会活動

### (1) サービス向上委員会

利用者満足度調査、虐待防止研修会開催、第三者委員定期訪問・相談日の設置等を行った。今年度は、受付担当者が県適正化委員会主催の「福祉サービス苦情解決関係者等研修会」に参加し、苦情対応における知識を深めた。

### (2) 危機管理委員会

ヒヤリハット報告制度の推進、労働環境点検活動、緊急時対応訓練等を行った。ヒヤリハット制度運用マニュアルは策定に至らず、次年度に行うこととした。

### (3) 職場研修委員会

全体の研修計画の策定および研修の推進に努めた。

## 職員研修

月	研修名	参加者
4月	職員全員研修（内部研修・2日間）	14名
	グループホーム職員会議・内部研修	4名
5月	障害児・者福祉施設新任職員研修	2名
6月	生産物の食品表示及び障害者支援事業所共同受注窓口運営支援事業説明会	1名
	青森県東地区グループホーム連絡協議会総会	1名
	障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム	1名
	グループホーム世話人勉強会	2名
7月	衛生講習会	1名
	社会福祉法人制度改革対応セミナー	2名
	緊急時対応訓練（内部研修）	9名
	グループホーム世話人勉強会	2名
	平成28年度栄養・食育マネジメントセミナー	1名
8月	社会福祉法人制度改革と社会貢献事業についての説明会	2名
9月	社会福祉法人制度改革対応勉強会（小規模法人対応を中心）	1名
	社会福祉法改正セミナー	1名
	平成28年度福祉サービス苦情解決関係者等研修会	2名
	グループホーム世話人勉強会	1名
10月	八戸圏域定住自立圏連家事業「障害福祉研修会」障害者施設の防犯について	1名
11月	平成28年度大規模災害に備えたBCPセミナー	1名
	食品衛生責任者実務（更新）講習会	1名
	平成28年度社会福祉法人制度改革対応セミナー（後期）	2名
12月	社会福祉法人制度改革と社会貢献事業についての説明会	2名
	導入レベルのキャリア・コンサルティング講習	1名
1月	平成28年度青森県障害者虐待防止・権利擁護研修 管理者編	1名
	平成28年度青森県障害者虐待防止・権利擁護研修 従事者編	1名
	平成28年度青森県発達障害普及啓発研修会	1名
2月	みどりの長ぐつ農業体験（職員・利用者）	3名
	第28年度第2回三戸地域生活困窮者自立支援ネットワーク会議	2名
3月	農福連携セミナー	6名
	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	3名

## 防火管理

防火管理者の下に各棟または一定区域毎に火元責任者を定め、火災予防に努めるとともに、避難訓練及び自衛消防組織を訓練することにより、有事の場合に役立つ組織作りに努めた。

### (1) 予防管理組織

区域毎に火元責任者を定め、日常の火気使用器具の火気管理・終業時の火気点検の実施、および毎月1回の建物・消防用設備の自主点検を実施した。

### (2) 消防用設備の法定点検

委託業者による消防用設備の機器点検を5月に、総合点検を11月に実施し異常はなかった。

### (3) 消防訓練

火災や地震等、各事業所で起こりうる状況を想定し避難等の訓練を行った。

共同生活援助	【部分訓練】7/31、【総合訓練】3/26
多機能型・相談支援事業（合同）	【部分訓練】6/20、【総合訓練】3/24

## 就労継続支援B型事業・生産活動について

加工、農業、受託、手芸の4種類の生産活動を提供。エンパワメントの視点を意識した「利用者中心の生産活動」を推進し、加工作業やごぼうの袋詰め作業等で、利用者主体で行える仕事の範囲がさらに広がった。

### 【生産活動の内容】

加工	菓子類・もち類・惣菜類等の製造販売 等
農業	野菜・豆類・きのこ・山菜・花卉の栽培販売、薪の製造販売、農産物加工品の製造販売（寒大根、かぼちゃプリン） 等
受託	野菜袋詰作業、掃除・運搬作業、草取作業、雪片付作業、犬の散歩 フルーツキャップ折り作業 等
手芸	裂織、編み物、古布小物、衣服等の製作販売 等

### 【主な販売先】

主な出荷先は直売所と地元商店。外販活動やイベント販売も積極的に行った。

直売所	ふれあい市ごのへ、アグリノ里おいらせ、おやさいの集会所、マエダ、倉石温泉、野菜クラブ
地元商店	岡村商店、金沢商店、尾形精肉店、松尾医院、さくら美容室、素心苑
受託契約先	北都ビルシステム（小渡平公園トイレ掃除、施設外支援：ゴミ収集作業）、エコファーム（ゴボウ袋詰作業）、コムラ醸造（施設外支援：ごぼうカット作業）、（有）今蔵（施設外支援：牛の世話）、倉石地域振興公社（施設外支援：軽作業）、農事組合法人くらいし（農作業） 等

外 販	五戸町社協、まちカフェ（五戸総合病院）、浄信館（八戸市）で販売						合計 75回 実施
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	6回	3回	8回	7回	8回	7回	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	5回	6回	6回	5回	7回	7回	

【主な販売活動・イベントへの参加 等】

4月	五戸春まつり出店
5月	五戸ぎゅぎゅっとお楽しみBOX 発送（～5/28）【184箱】 五戸町社協環境整備（草集め）①
6月	のぞみ園祭出店 五戸町社協環境整備（草集め）②
7月	三戸郡社会福祉大会出店（新郷村「美郷館」） 青森銀行納涼パーティー出店 浄信館まつり ビックリ夜店出店
8月	五戸町社協環境整備（草集め）③ お盆セット販売
9月	彼岸だんご販売 ボランティア市民活動フェスティバル（NPO ワーキング研究会へ販売委託）
10月	赤そば花まつり出店（アグリノ里おいらせ） 五戸ぎゅぎゅっとお楽しみBOX 発送（～11/5） 五戸町社協環境整備（草集め）④ さんばちパレットまつり in ごのへ 福祉バザー出店（五戸町社協） ユートリー産直・郷土食フェア出店
11月	ごのへ産業と文化まつり（商工会女性部を通して出品）
12月	かぼちゃプリン販売（アピル五戸コラボ企画） 正月用もち販売
1月	移山寮収穫祭にて出店
2月	新郷村福祉大会出店 ほのぼのまつり（五戸町保健福祉センター）出店 豊間内地区コミュニティセンターまつり納品
3月	にじいろ上映会出店 農福連携セミナー出店 彼岸だんご販売

【工賃向上計画の取り組みについて】

	主な方策	取組状況
事業全体	①工賃配分方法の検討・見直し	・4月に見直しを行った。
	②利用者の力を活かす環境づくり・支援強化	・チームで作業を分担し、利用者主体での作業を強化した。職員の指示がなくても作業を進めることができるようになってきた。
	③事務業務省力化に向けた受注管理システム導入の検討着手	・業者に相談したが思うような規制製品を探せなかった。次年度引き続き検討。
	③チラシ配布、HP掲載による計画的な情報発信	・実施している。
加工	①加工場の新築	・12月末に完成し移転した。
	②ギフト向けパッケージの商品化	・完成し商品化している。
農業	①味噌の販売計画	・外部への販売は出来ないことになったが、給食や加工場等、事業所内で消費している。美味しい味噌に出来上がった。
	②農業の機械化。省力化の推進	・管理機を購入し、使用にあたっての講習会も行った。
	③規格外農産物の活用検討	・給食・加工場・GHへ販売。栽培計画以上に作付したため農作物が余ったときがあったので、次年度の栽培計画に生かす。
受託	①施設外支援の強化	・施設外支援先に定期的に訪問し、利用者の様子を伺う等し、企業等との連携を図った。
	※新たな仕事としてフルーツキャップ折り作業を始めた。2000個で380円と収益性は低く赤字ではあるが、訓練として継続していく。工賃の配分については今後検討していく。	
手芸	①売れ筋商品の製作 ②イベントでの販売	・倉石温泉では、腕カバー・脚カバーの注文が好調。
	※他の作業が難しい利用者の受け皿としての役割を担う。	

生産活動収支実績と工賃支給実績 **※目標工賃月額 17,154円、目標工賃時給額 195円**

	H26年度	H27年度	H28年度	前年比
A.売上高	12,294,882	14,526,366	<b>14,327,979</b>	<b>98.6%</b>
加工	7,369,628	7,835,405	<b>7,810,298</b>	<b>99.7%</b>
農業	2,709,941	3,212,953	<b>3,325,854</b>	<b>103.5%</b>
受託	1,907,488	3,111,585	<b>2,888,188</b>	<b>92.8%</b>
手芸	307,825	366,423	<b>303,639</b>	<b>82.9%</b>
B.支出	7,259,989	6,197,135	<b>6,445,282</b>	<b>104.0%</b>
C.工賃支給前 収支差額(A-B)	5,034,893	8,329,231	<b>7,882,697</b>	<b>94.6%</b>
【売上比率】	41.0%	57.3%	<b>55.0%</b>	<b>95.9%</b>
D.工賃変動積立預金積立(▲取崩)	0	297,071	<b>▲ 38,487</b>	—
E.設備等整備積立預金(▲取崩)	0	1,000,000	<b>0</b>	—
F.工賃額	5,034,893	7,032,160	<b>7,921,184</b>	<b>112.6%</b>
G.収支差額(C-D-E-F)	0	0	<b>0</b>	—
H.利用者延数	293人 (24.4人/月)	321人 (26.8人/月)	<b>356人</b> <b>(29.7人/月)</b>	<b>110.9%</b> —
I.平均工賃月額(D/F)	17,183.9円	21,907.0円	<b>22,250.5円</b>	<b>101.6%</b>
J.労働時間数	25,818.75時間	28,452.75時間	<b>32,026.25時間</b>	<b>112.6%</b>
K.平均工賃時給額(D/H)	195.0円	247.2円	<b>247.3円</b>	<b>100.0%</b>